



誠・力・光

令和6年3月18日

練馬区立北町中学校

学校だより 3月号

未来へのステップ

校長 中嶋 雅彦

花の香りに気づき、公園の中に目をやると、お雛さまが飾られ、その横にたくさんの沈丁花の花が咲いていました。弥生の季節を感じ、春の足音が聞こえてきました。沈丁花（ジンチョウゲ）は、香り高い花を咲かせるジンチョウゲ科の常緑低木です。その公園にも、樹高が1~1.5mほどで、たくさんの枝が集まり、丸くこんもりと育っていました。沈丁花の花言葉は「栄光」「勝利」「永遠」などだそうです。年度末に、この言葉が数多く出てくることを願いました。

さて、令和5年度も最終月となりました。3月19日(火)には、第65回の卒業証書授与式が行われ、25日(月)には、修了式が行われます。生徒たちは、1年間を振り返るとともに、次年度の準備を一生懸命に行ってています。

この時期にふさわしい言葉のひとつとして、「有終の美」があります。諸説あるようですが、中国最古の詩集といわれる「詩経」に、その一節があります。「初めあらざるなし、よく終わること少なし」という詩の一節から有終の美が由来しているとのことです。人は何か事を始めるが、最後までやり通すということは難しいことだ。困難に立ち向かい最後までやり遂げること、そのすばらしさを表現した言葉が「有終の美」です。生徒が学校生活で、本年度の目標としたことや1年間やり通そうと努力していることを最後まで、自らの努力をあきらめず「有終の美」を飾って欲しいと思っているところです。そして、その成果を未来へのステップとして、進級した学年でそして進路先で、その栄光を大きく開かせて欲しいものです。

本校では、今後も進路指導の一貫として、自分らしい幸せを見つけるために必要な学びに向かう姿勢を大切にし、授業や行事などすべての場面で、その力を身に付けさせる取り組みを実践していきます。これからも、北町中学校の教育活動にご理解をいただき、北中生を地域の子どもたちとして、ご支援をお願いいたします。保護者や地域の皆様のお力を子どもたちへの大きな成果に繋げてきたいと考えております。